

9 保護者と子どもたちの育ちを喜びます。

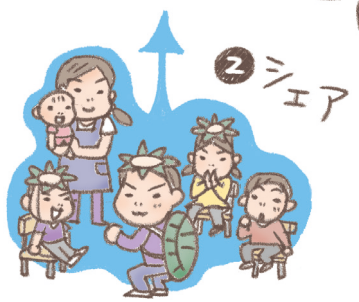


10 すべてをユーモアのある遊び(=学び)に。



※「安全への配慮」「人権の尊重」「子どもの発達理解」「子ども中心」は、保育者の持つ基本的な心得ととらえ、質の高い保育はこの上に成り立つと考えました。なお、子どもの権利条約では、教育の目的を「子どもの人格、才能(諸々の)能力をその可能な最大限まで発達させる」としています。(おもに、**ピンク**…子ども理解、**ブルー**…直接的な実践、にかかわる項目)

- 8 活動は、
- ①子どもが納得するまで継続
 - ②子ども同士でシェア
 - ③見える化(記録の開示)



一人ひとりの子どもの可能性・能力を引き出せるのが、「質の高い保育」です。

by エデュカーレ

7 「うまくできたか」の結果より、プロセスで成長を振り返ります。



1 「ねえねえ聞いて」子どもについて大人同士で語ります。



質の高い保育のために、園の中で保育者がすること「10」

アンケートの回答も参考に、エデュカーレの考える「質の高い保育」について会議でまとめたものです。「自分たちの言葉」「ポジティブな表現」を使い、ポスター形式にしました。

2 子どもの興味から始め、体験を広げます。



3 子どもの『今』に合った環境を用意します。



5 気持ちを分かろうとし、対話の主導権は子どもに。



6 今までの当たり前、思い込みを見直し、常に「子どもにとっては？」を問います。



4 子どもをプラスの目で見ることを忘れません。